

刊行にあたって

接着歯学の分野では、日本発信の優れた材料が世界をリードしています。しかし一方で、保存・補綴臨床の多様化により、各社からさまざまな接着材料が販売されており、適応症の見極めが予後を大きく左右することもあります。各製品にはそれぞれに特徴があり、臨床現場でその選択に迷う先生も多いのではないのでしょうか。

本増刊号では、現時点での接着材料を整理するとともに、それぞれの適応症や臨床応用のポイントを紹介しています。また、今後増えゆくCAD/CAM修復等々、日常臨床で頻繁に遭遇する「接着」の基本から最新情報までを幅広く網羅した一冊となるよう企画いたしました。

本増刊号が、一般臨床医にとって、スキルアップの一助となれば幸いです。

2018年6月
編集委員一同